

〈参考資料〉

2017年12月14日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

魚介類の核種分析結果〈福島第一原子力発電所港湾内〉

試料名 (部位)	採取場所 (地点番号)	採取日	試料濃度 (Bq/kg (生)) (半減期)		
			Cs-134 (約2年)	Cs-137 (約30年)	Cs合計
コモンカスベ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	2017年11月8日	ND(8.6)	16	16
マコガレイ(筋肉) No. 1	1F港湾内(港湾口付近)	2017年11月8日	5.5	60	65.5
マコガレイ(筋肉) No. 2	1F港湾内(港湾口付近)	2017年11月8日	ND(5.2)	24	24
ニベ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	2017年11月21日	ND(6.9)	ND(6.3)	ND
クロダイ(筋肉)	1F港湾内(港湾口付近)	2017年11月28日	14	84	98
ヒラメ(筋肉)	1F港湾内(東波除堤前)	2017年11月22日	8.1	77	85.1
アイナメ(筋肉)	1F港湾内(北波除堤前)	2017年11月7日	ND(6.6)	32	32

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載し、個別の核種については()内に検出限界値を示す。

※ 基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計:100Bq/kg。